

富山県における「投資」と「参画」による共創創出コミュニティ育成

応募様式A

「ヒトとマチの動かし方」研究会 UgoQ

事業の基礎情報

事業実施地域	富山県
人材育成の対象	マイカー交通の活用を検討する自治体担当者および、地域組織
人材育成の手法	データ分析演習および、意見交換WS
人材育成の内容	マイカーデータ分析の手法と活用の視点、これを踏まえた地域組織の理解促進・関係づくり
想定育成人数	自治体担当者15名程度＋地域組織関係者20名程度

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

- ・富山県は、交通サービスの確保・向上に向けて、**自治体の投資と支え手としての住民・企業の参画等により、地域の関係者とともに取り組んでいくこと（共創）**を目指している。
- ・計画に基づき、各地域で新たな交通サービスを立ち上げていくには、移動の多くを占めるマイカー交通を踏まえた検討を行うなど、地域の**実態に基づく投資効果の最大化**や、把握したデータをもとに、**住民等との対話を通じ参画を促す**ことが必要である。
- ・自治体が**共創の種としての実態分析**の理解、視点を深めるとともに、**民・地域組織との連携を創っていく**ことが求められている。

(事業の概要)

- ・自治体による**仮説検証型実態分析からの地域・民との議論展開**による人材育成を、官民学連携で試行
 - ①県内2エリア程度を対象に研修に用いる**マイカー移動データ等**を取得
 - ①これを用い、自治体担当者を対象とした**実態分析WS**でデータを活かす視点を身に着ける
 - ②その結果を活かし、**自治体と地域関係者との連携を議論**するWSを実施
- ・これを踏まえ、投資↔参加による共創創出に向けた官民の連携による**人材育成のあり方を検証**する

実態データ収集

- ・2地域程度でデータ集め（中山間エリア、郊外エリア等）
- ・車載器等での収集

<WS1> 自治体 実態分析WS (2日)

- 対象：県内市町担当者
- ・上記ケーススタディデータで、分析の手法と、活用の視点を学ぶ

仮説検討
分析演習・ワーク
結果共有・使い方議論

<WS2> 地域議論 スタートアップWS (2か所@半日)

- 対象：地域組織・民組織（県単位）
＋対象エリア組織、行政
（例：PTA、老人クラブ、自治会、商店街、商工会、観光関係等）
- ・中山間編、郊外編等、各1回程度
 - ・①の結果を活かし、自家用車を話題として、県内で民が関わり議論していくきっかけに

①の共有
WS1：対象地域で何ができそうか
WS2：どう議論を進めるとよさそうか

富山県における「投資」と「参画」による共創創出コミュニティ育成

応募様式A

「ヒトとマチの動かし方」研究会 UgoQ

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

<自治体担当者>

- ・マイカー交通データ等の分析手法、実態を資源ととらえたプランニングの視点を身につける
- ・これが、民との連携を進める取組の実施、効果的な投資のベースになると考えられる

<地域組織関係者>

- ・実態に基づく民・地域との議論の機会をつくり、地域関係者が議論の進め方やポイントを理解する
- ・これが、官民連携による実際の議論・活動のきっかけにもなると考えられる

<県におけるマネジメント>

- ・県全体で目指す、「投資」「参画」による共創創出に向けた、実効的な育成・機会づくりを可視化（民の協力も得ながらの取組へ）

(事業実施手順・スケジュール)

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
準備	交付申請									
データ取得		準備	取得	整理						
データ分析WS		企画		準備・募集	WS実施					
地域議論WS			企画		準備・募集	WS実施				
まとめ								まとめ		
実績報告										報告

(補助事業実施後の予定)

- ・試行結果から、実態データを活かしたプランニングと地域の議論が実際に進められる育成・機会づくりの形を整理し、展開する
- ・その際、当研究会構成員のような民・学との連携可能性・ポイントを整理し、官民学連携による育成・支援の仕組みを検討、反映